

## 7. 救急対応(パラメディカル対応)

*Do what you can, with what you have, where you are.*

— Theodore Roosevelt (1901~1909年)

自分もっている物で、今いる場所で、できることをやりなさい。

### 本音 トーク 1 アメリカ救急医療の基本は、用語に慣れること

#### 1. EMS とは？

アメリカでは、救急隊員を含む救急システムを総称して **EMS (emergency medical system)** と呼んでいます。この EMS という言葉はとても頻繁に使われ、またとても便利な言葉として重宝されています。

**たとえば**、実際に ER に到着した患者のレポートをくれるのは救急隊員ですが、

- 「According to EMS report, … (救急隊員のレポートによると…)」という具合にカルテに書けたり
- 「What did EMS say ? (救急隊員、なんて言った?)」とナースに聞けたり

「『EMS』 = 『救急』のことだよ」という具合に瞬時に判断できて、便利なわけです。

#### 2. アメリカの救急車は？

日本では 110 番と 119 番は使い分けますが、アメリカでは 911 番で統一されているのでとても便利です。救急車は、消防署あるいはプライベートで運営している救急車会社から出動します。また、救急車は緊急度やニーズに応じて適切な種類のものが次のように使い分けされています。

#### ● アメリカの救急車 2 種類

- 超重症患者に対応可能な ACLS (advanced cardiac life support, 二次心肺蘇生) 型
- 緊急度の低い basic (通常) 型

たとえば、心肺停止と思われる超重症患者の場合は、全員気管挿管のできる paramedics (救急隊員) が乗っている ACLS 型救急車が出動します。それに対して、病院でリハビリ入院を終えて老人ホームへ帰るだけ、などの転院患者の場合は、点滴も取れない basic 型の救急車が出動します。

**ちなみに**、アメリカでは救急車は有料です。どこの国にでもあることだとは思いますが、中には有料でも救急車を乱用する人がいます。先日もカジノですった老夫婦がタクシー代もないので自宅の近くの病院まで救急車でやってきて、でっ上げの症状を訴え、拳銃の果てには elopement (逃亡) してしまった…、などというケースがあり、呆れました。

**elope** とは、患者が勝手に ER を出て帰ってしまうことです。elopement が発生したときは、必ず elopement note (逃亡記録) をカルテに書きます。elopement note を書くことによって、法律的にあなたを保護してくれます。つまり、「スタッフの知らない間に起きた患者の故意によるできごとであった」という事実をカルテに書き残すことで、「ER を去った後に起こった病状悪化等には病院側の責任がないこと」を主張 (ディフェンス) する「転ばぬ先の杖」になってくれるのです。「AMA (against medical advice, 医師の助言に背き退院すること)」とはちょっとニュアンスが違います。AMA は、医師の指示に逆らって ER を後にする感覚です。もちろん、AMA 発生時にも AMA note (AMA 記録) をカルテに書かなければなりません。以下に文例を紹介しておきます。